

3月13日(日)に東京の学術総合センター(一橋講堂)にて開催する
第20回自然科学研究機構シンポジウム
「生命の起源と進化」地球から系外水惑星へ
の参加申し込み受付を開始しました。ぜひご登録ください。

<http://www.nins.jp/sympo20.php>

皆さまのご参加をお待ちしております!

INDEX

1. 「第20回自然科学研究機構シンポジウム」参加申し込み受付開始
2. 各研究機関のイベント情報
3. 最新の研究成果・ニュース
4. 編集後記

-
1. 「第20回自然科学研究機構シンポジウム」参加申し込み受付開始
-

<シンポジウム概要>

◆タイトル: 第20回自然科学研究機構シンポジウム
「生命の起源と進化」地球から系外水惑星へ
<http://www.nins.jp/sympo20.php>

◆概要:

この広い宇宙、地球以外に生命を宿す星はあるのでしょうか?
また、そもそも地球における生命は、どう誕生し、どう進化してきたのでしょうか?
今回の自然科学研究機構シンポジウムは、「生命の起源と進化」を
題材として、機構にあらたに発足したアストロバイオロジーセンター
における「宇宙と生命」に関する融合研究を中心に、天文学、生物学、
分子科学などの視点で、地球および系外水惑星における生命の起源と
進化を考えます。

◆日時: 2016年3月13日(日) 13:00~17:30 (開場 12:00)

◆会場: 一橋講堂(講演用)及び中会議場2、3、4(展示用)
(東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター)

◆参加費: 無料(一般むけ公開シンポジウム)

◆申込方法: 下記 Web サイトの専用の申込みフォームよりお申込みください。
<http://www.nins.jp/sympo20.php>

◆LIVE 配信：ニコニコ生放送及び USTREAM による LIVE 配信を行います（予定）
※上記 Web ページよりご視聴頂けるようになります。

◆主催：大学共同利用機関法人 自然科学研究機構

◆プログラム：

12:00～

開場

～パネル展示（展示会場にて研究所紹介やミニトーク等）～

ABC ミニトーク（12:00～、12:30～）

“ダジック・アース”を使って宇宙から惑星を見てみよう！（展示会場ブースにて）

13:00～13:10

機構長挨拶

佐藤 勝彦（自然科学研究機構 機構長）

13:10～13:45

「生命を宿す惑星の成り立ちを考える」

玄田 英典（東京工業大学 地球生命研究所 特任准教授）

13:45～14:20

「水はどこから来たのか？－惑星系を伴う原始惑星系円盤の観測および円盤内の水や氷の観測」

橋本 淳（自然科学研究機構 アストロバイオロジーセンター 特任助教）

14:20～14:55

「地球型惑星を探せ！これからの系外惑星観測」

成田 憲保（自然科学研究機構 アストロバイオロジーセンター 特任助教）

14:55～15:25

休憩（30分）

～パネル展示（展示会場にて研究所紹介やミニトーク等）～

15:25～16:00

「極寒の南極で光合成をする生物たち」

小杉 真貴子（中央大学 助教）

16:00～16:35

「生命の謎に迫る人工細胞」

菅原 正（神奈川大学 教授）

16:35～17:10

「地球の覇者－昆虫の多様な世界」

新美 輝幸（自然科学研究機構 基礎生物学研究所 教授）

17:10～17:20

閉会挨拶

※講演題目は全て仮題であり、講演者が変更する場合があります。

2. 各研究機関のイベント情報

◆2月5日（金）

市民公開講座 第108回分子科学フォーラム@愛知県岡崎市

「生物活性分子の新しい世界」

https://www.ims.ac.jp/research/seminar/2016/01/07_3357.html

◆2月13日（土）～14日（日）

スターアイランド 15 VERA 小笠原局特別公開@東京都小笠原村

<http://www.miz.nao.ac.jp/content/news/event/20160122-293>

3. 最新の研究成果・ニュース

【国立天文台】

◆天の川銀河の中で二番目に大きなブラックホールの兆候を発見

<http://www.nao.ac.jp/news/science/2016/20160115-nro.html>

【核融合科学研究所】

◆液体金属を使って高温に耐えられる壁を作る！

－スズシャワーダイバータの開発－

http://www.nifs.ac.jp/lhdreport/mailinfo_266.html

◆酸化エルビウム電気絶縁被覆の広範囲成膜に成功

－先進ブランケットのための配管内高性能被膜技術開発－

http://www.nifs.ac.jp/lhdreport/mailinfo_267.html

【基礎生物学研究所】【新分野創成センター】

◆生物の形態を定量的に記述する画像情報解析手法の開発

<http://www.nibb.ac.jp/pressroom/news/2016/01/18.html>

【生理学研究所】

◆温度感受性チャネル（TRPM3 チャネル）の新たな機能特性を解明

<http://www.nips.ac.jp/release/2016/01/trpm3.html>

◆リハビリテーションは脳の配線を変え、機能の回復を導く

－脳卒中後の麻痺肢の集中使用による運動野-赤核路の増強は、運動機能の回復と因果関係を有する－

http://www.nips.ac.jp/release/2016/01/post_311.html

◆加齢高血圧リスクを高める受容体を特定 ー心血管病の予防・治療に期待ー

http://www.nips.ac.jp/release/2016/01/post_313.html

【分子科学研究所】

◆配位子で保護された金クラスターの結合階層性を解明

https://www.ims.ac.jp/news/2016/01/18_3360.html

4. 編集後記

3月13日（日）開催の「第20回自然科学研究機構シンポジウム」について、参加申し込みの受付を開始しました。

回を重ねるごとにパワーアップしている当機構のシンポジウム。

20回目となる今回は、いつもたくさんの方に足をお運びいただいている

「パネル展示（ブース展示）」にて、当機構が新たに設立した

「アストロバイオロジーセンター」の展示ブースが追加されました。

アストロバイオロジーセンターのブースでは、

『ダジック・アース』を使って宇宙から惑星を見てみよう！』

というテーマで研究者によるミニトークも開催されます。

(なお、13:00の講演開始前の「12:00～」と「12:30～」の2回を
予定しております。お越しになる際にはご注意ください。)

『ダジック・アース』って何だろう?』と疑問に思われた方
・・・ぜひ会場で直接ご確認ください!

それでは皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

※ご参加の際には下記 Web サイトの専用の申込みフォームからお申し込みください
<http://www.nins.jp/sympo20.php>

最後までご覧いただき、ありがとうございました。

ご意見等ございましたら、nins-kikakurenkei@nins.jp までお寄せ下さい。

【自然科学研究機構シンポジウム・メールマガジン】

このメールマガジンでは、シンポジウムの情報に加えて、
自然科学研究機構 (NINS) や NINS の各研究機関 (※) が開催する
イベント等の情報、そして最新の研究成果などをお伝えします。

(※NINS は、国立天文台、核融合科学研究所、基礎生物学研究所、
生理学研究所、分子科学研究所の 5 つの研究所から成り立ち、
自然科学研究の広い分野をカバーしています。 <http://www.nins.jp/>)

発行者：自然科学研究機構 <http://www.nins.jp/>

発行システム：『まぐまぐ!』 <http://www.mag2.com/>

バックナンバー：http://www.nins.jp/public_information/mailmagazine.php

配信の中止・購読・バックナンバーはこちらから：

<http://www.mag2.com/m/0001498331.html>

Copyright(C)2016 NINS All rights reserved.
